

第210回日本経済予測

～経済正常化への道筋、強まる変異株の脅威～

大和総研 経済調査部

研究員 和田 恵

本日の内容

- ◆ 7-9月期は2四半期連続のプラス成長へ
- ◆ 輸出と個人消費が経済動向を左右
- ◆ ワクチン接種の遅延や
新たな変異株の出現がリスク

2021年4-6月期GDP（1次速報）

実質GDP	0.3	前期比%
民間最終消費支出	0.8	
民間住宅	2.1	
民間企業設備	1.7	
政府最終消費支出	0.5	
公的固定資本形成	▲1.5	
輸出	2.9	
輸入	5.1	
内需寄与度	0.6	
外需寄与度	▲0.3	%pt

（注）全て季節調整値、かつ実質値。

（出所）内閣府統計より大和総研作成

前期比年率 + 1.3%

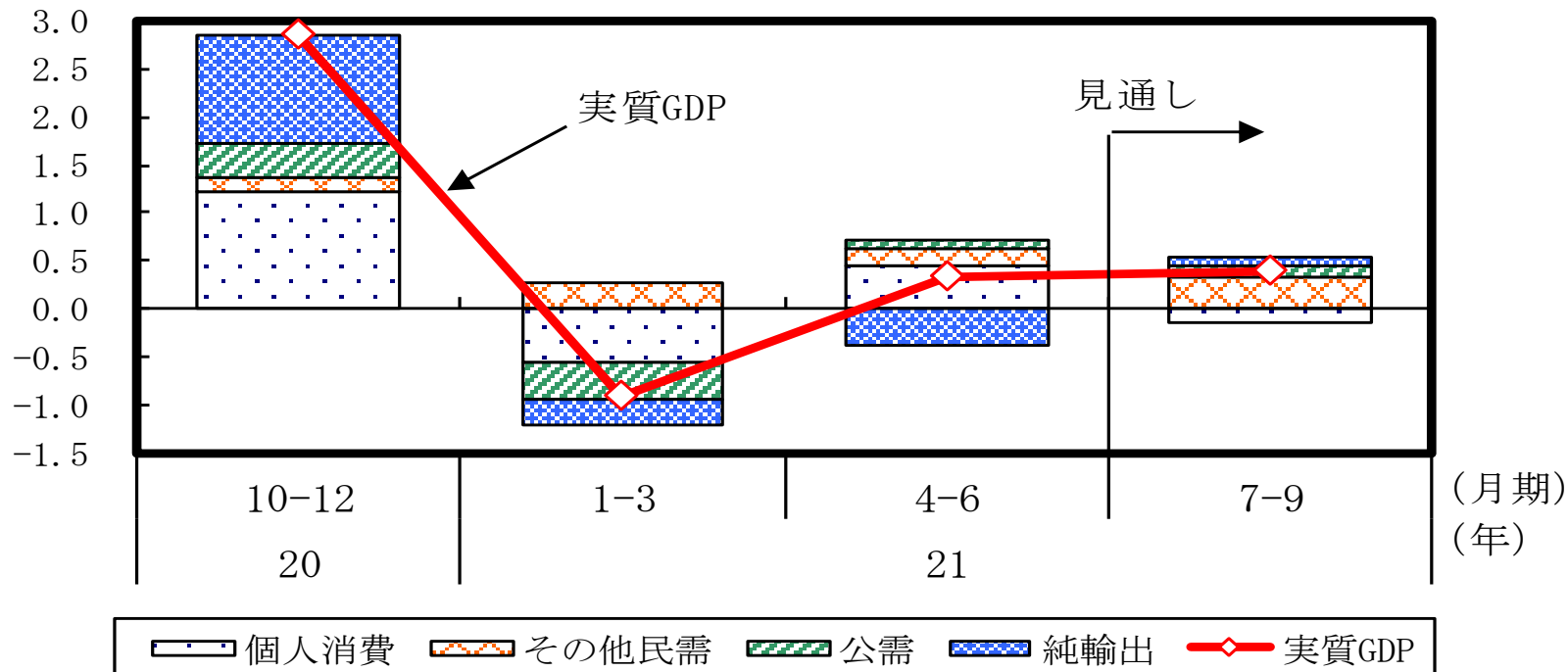
2四半期ぶりのプラス成長

民需関連では在庫を除く全項目が増加
個人消費が底堅く推移

7-9月期の実質GDPは2四半期連続のプラス成長へ

実質GDP成長率の実績と見通し

(前期比、%、%pt)

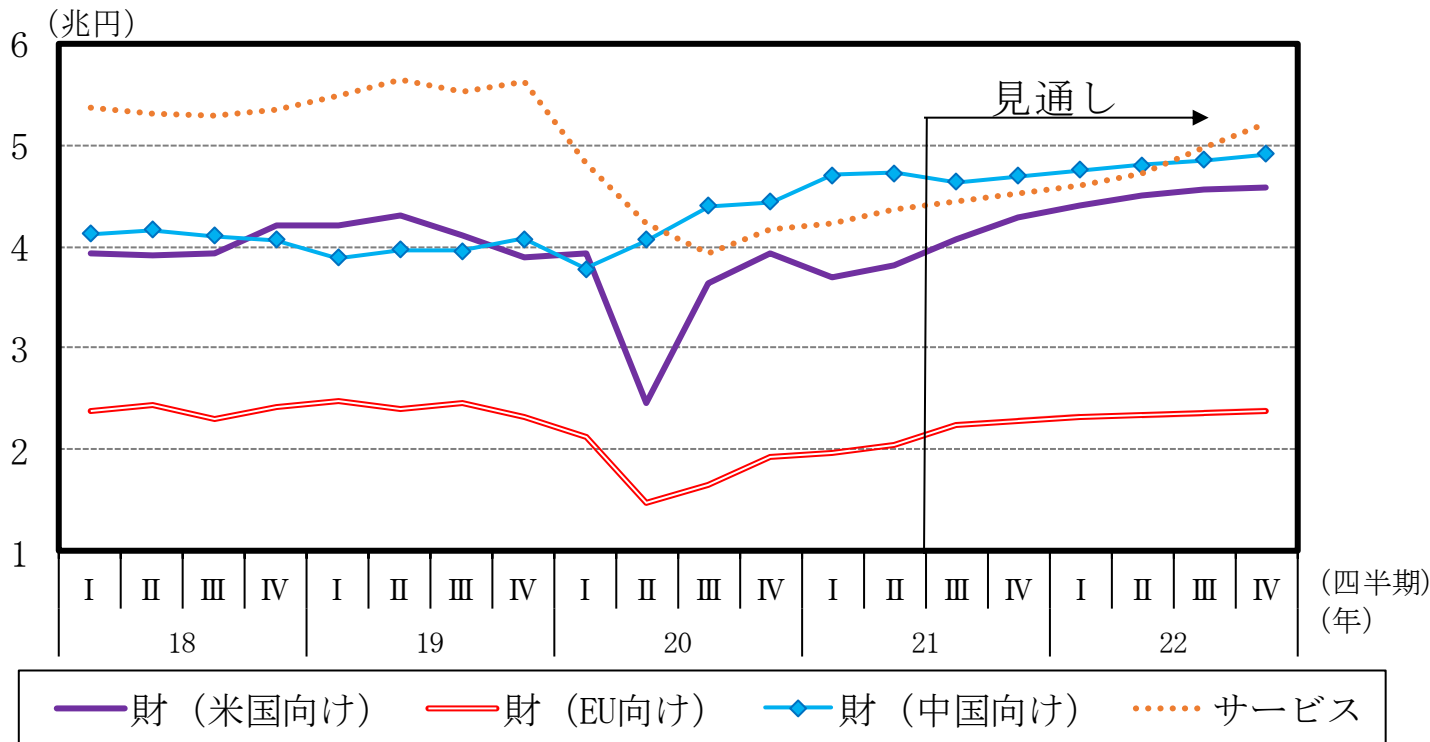


(注) 実質、季節調整値。

(出所) 内閣府より大和総研作成

財輸出は欧米向けを中心に増加

日本の実質輸出見通し



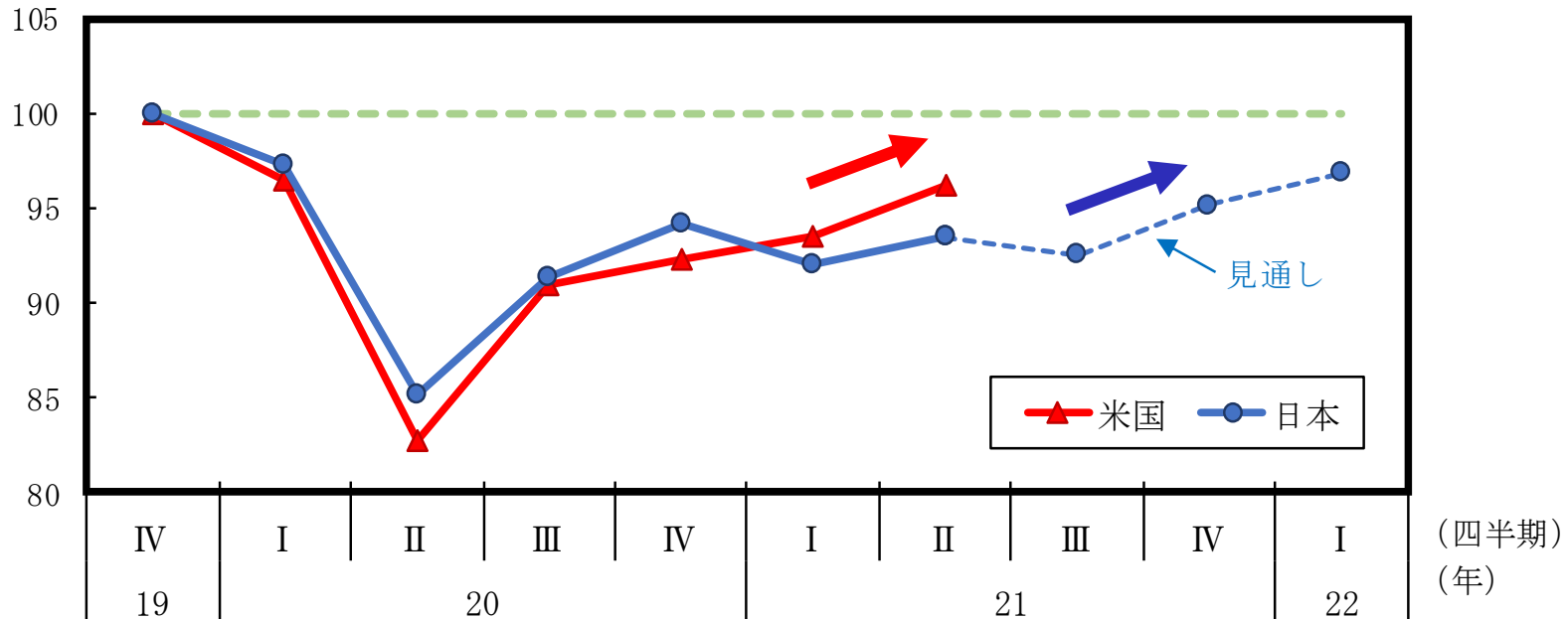
(注) 大和総研による季節調整値。

(出所) 日本銀行、財務省、総務省、中国国家統計局、BEA、FRB、Eurostat、Haver Analyticsより大和総研作成

ワクチン接種の進展がサービス消費をけん引

日米の実質サービス消費

(2019年10-12月期=100)



(出所) Haver Analytics、内閣府より大和総研作成

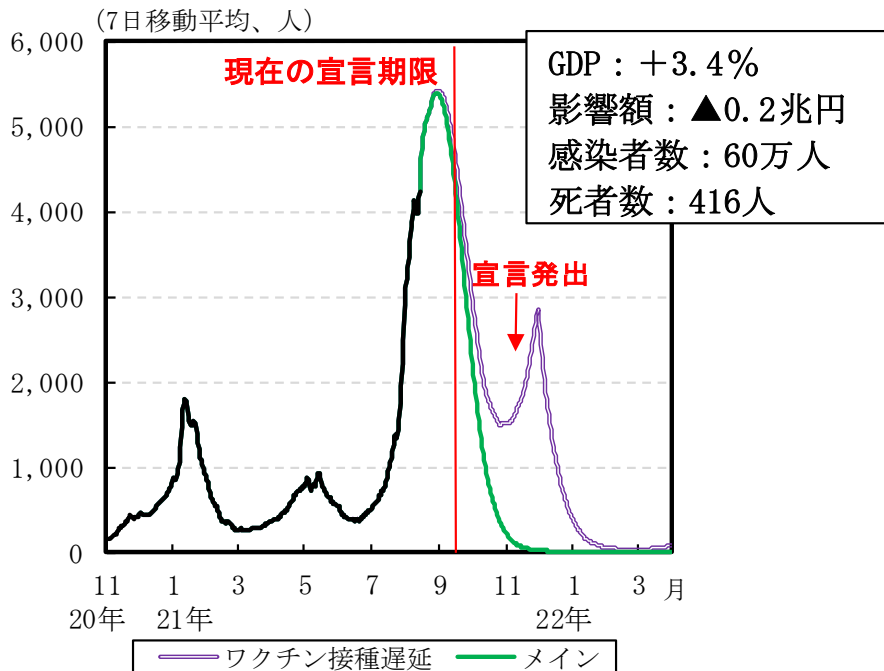
ワクチン接種の遅延や新たな変異株がリスク

	ワクチン接種 の想定	宣言の状況 (4回目は9月末で解除)	実質GDPへの影響	21年度下期の全国の感染状況（累積）	
			上段：21年度の成長率 下段：影響額	新規感染者数	死者数
メインシナリオ	1日あたり 130万回程度 10月末に80% が完了	—	+3.4%	12.1万人	85人
			—		
ワクチン接種遅延シナリオ	徐々にペースが 減速 1月末に70% で頭打ち	11月半ば～1月上旬 に5回目の宣言発出 (4回目並みの抑制)	+3.4%	59.5万人	416人
			▲0.2兆円		
リスクシナリオ (新たな変異株が12月に出現、 ワクチンの効果半減)	メインシナリオと同じ	1月下旬～3月末 に5回目の宣言発出 (人出半減)	+2.8%	49.7万人	348人
			▲3.7兆円		

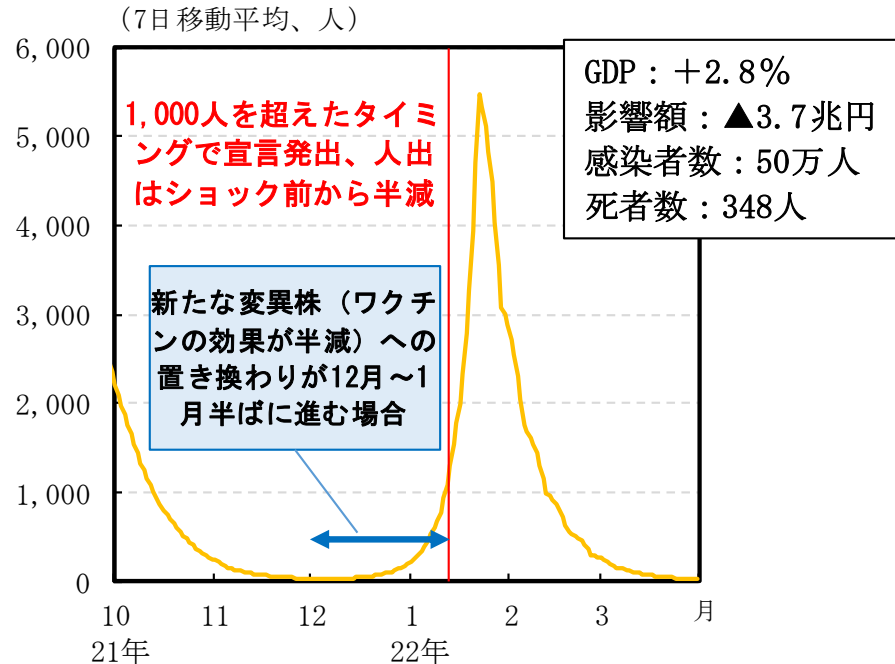
(出所) 各種資料より大和総研作成

ワクチン接種遅延・リスクシナリオのシミュレーション

ワクチン接種遅延した場合の 新規感染者数（東京）



新たな変異株が拡大した場合の 新規感染者数（東京）



本日のポイント

1. 日本経済の現状と先行き

7-9月期はワクチン接種の進展を追い風に
2四半期連続のプラス成長へ

2. 個人消費と輸出の先行き

財輸出は欧米を中心に増加、サービス輸出は2022年に加速
ワクチン接種進展後はサービス消費は10-12月期に持ち直し

3. 感染拡大による景気の下振れリスク

ワクチン接種が遅延すると11月半ばに5回目の宣言発出の恐れ
新たな変異株の出現には引き続き警戒が必要